



議会だより



3月13日に開業した「えちご押しひすい海岸駅」

第1回定例会を開催 ～2月22日から3月19日まで～

本定例会では、条例関係、予算関係などの市長提出議案37件、請願1件、議員発議1件を審議しました。
本定例会における審議結果は、11ページをご覧ください。
また、12人の議員が一般質問を行い、市政を問いただきました。

..... 議会の動き

1月

18日 全員協議会

2月

1日 市民厚生常任委員会
15日 議会運営委員会
22日 議会運営委員会
本会議（初日）
26日 議会運営委員会

3月

1日 本会議（一般質問）（2日、4日）
8日 全員協議会
総務文教常任委員会
9日 建設産業常任委員会
10日 市民厚生常任委員会
11日 全員協議会
予算審査特別委員会（12日、15日、16日）
18日 議会運営委員会
19日 本会議（最終日）

常任委員会

市の事務に関する調査及び議案・請願等の審査を行うための常設の委員会です。

本会議で付託された議案等について、3つの常任委員会で審査をしました。

各常任委員会の審査件数や所管事項調査の項目、主な質疑の内容（本定例会最終日の委員長報告より抜粋）は下記のとおりです。

総務文教常任委員会

条例の制定5件、補正予算1件、その他2件を審査しました。また、「第3次糸魚川市総合計画の策定について」の所管事項調査を行いました。

○財産の取得について（消防ポンプ付大型水槽車）

質疑 落札率は99.9%となっているが、問題ないか。

答弁 高い落札率になっているが、入札は適正に行われており、問題はない。

○特別定額給付金事業について（一般会計補正予算）

質疑 当市での事業の状況はどうだったか。

答弁 当市では給付率が99.9%で、希望される方に配布できた。市民からの問合せでは申請書の届く時期、振込時期などの確認が多く、トラブルはなかった。

○所管事項調査「第3次糸魚川市総合計画の策定について」

質疑 年代別、業種別等良いアンケート結果としてまとめられているが、アンケートというものは、市民サービスとして住民からの要望が多くなる。課題もあるかと思うが、どのように進めるのか。

答弁 アンケートでは、行政に求めるものが多くなることは承知している。今後は、市内各種団体、庁内委員会、各課が問題を抱える団体、住民、企業等と、それぞれが何ができるか、どうしたいのかを深掘しながら進めていく。

建設産業常任委員会

条例の制定1件、補正予算2件、その他1件、請願1件を審査しました。また、「下水道事業経営戦略の改定について」の所管事項調査を行いました。

○糸魚川市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例の制定について

質疑 今回の占用料の改正で来年度の歳入はどのくらい増額を見込んでいるのか。

答弁 約240万円の増額を見込んでいる。

○商工業振興費（新型コロナ対応）について（一般会計補正予算）

質疑 市内の事業所でコロナ禍を原因とした事業の縮小や廃業はあるのか。

答弁 市内事業者で廃業のケースはあるが、コロナを直接的な理由にしての廃業と認識はしていない。

○所管事項調査「下水道事業経営戦略の改定について」

質疑 職員の人材育成についての戦略は、どのようなものか。

答弁 ガス・水道事業会計との一体的な経営も視野に入れた職員数の精査が必要であり、今後も事業を継続していくためには、技術職員の確保や専門知識の取得に対して、十分な検討をしていかなければならない。

市民厚生常任委員会

条例の制定8件、補正予算3件を審査しました。また、「第4次糸魚川市犯罪のない安全・安心なまちづくり推進計画(案)について」「第11次糸魚川市交通安全計画(案)について」「第2次糸魚川市新エネルギービジョン(案)について」「糸魚川市高齢者福祉計画・第8期糸魚川市介護保険事業計画(案)について」「糸魚川市ささえあいプラン（第6期糸魚川市障害者計画・障害福祉計画・第2期糸魚川市障害児福祉計画）(案)について」の所管事項調査を行いました。

○糸魚川市医師養成資金貸与条例の一部を改正する条例の制定について

質疑 今回の改正で留意すべき点は何か。

答弁 専門研修受講で糸魚川総合病院を一時的に離れるが、行政と病院長との話し合いでは、研修プログラムを研修先大学との間で詳細を協議し、終了後に必ず糸魚川総合病院に戻るという計画のもとで受講させたいとしている。

○青海総合福祉会館改修事業について（一般会計補正予算）

質疑 より快適に利用いただくための更新は大切だが、利用状況と費用対効果はどうなっているか。

答弁 浴場は、1日平均約100人の利用者がおり、会議室や子育て支援センター、障害者作業施設は年間14,000人ほどが利用している。室内照明のLED化も以前一部更新したところ、平成30年と令和元年の電気料との比較で、約6%経費節減実績があり、効果が出ている。

○所管事項調査「第11次糸魚川市交通安全計画(案)について」

質疑 高齢者の利用が多いラクータ運転への交通ルールやマナーの啓発はどう考えているか。

答弁 ラクータの記述はないが、高齢者に安全運転の意識啓発の徹底と販売店にも協力を求めている。

閉会中の所管事項調査

常任委員会が、定例会の会期以外に行う調査です。

主な質疑の内容（本定例会初日の委員長報告より抜粋）は下記のとおりです。

市民厚生常任委員会

○第2次糸魚川市新エネルギービジョン(案)について（2月1日）

質疑 民間事業者が木地屋川や焼山川などで水力発電事業調査を行ったが、話が進んでいない。どのように対策を進めていくのか。

答弁 現在、湯沢川としな谷川で、民間事業者が認可を受けて、整備に動いている。当ビジョンの中で支援して、着実に進めていきたい。

○糸魚川市高齢者福祉計画・第8期糸魚川市介護保険事業計画(案)について（2月1日）

質疑 人口減少、高齢者増加が進む中、財政の将来状況から検討した介護保険料の長期ビジョンを示す必要があるのではないか。

答弁 10年くらいの中期で考えると、介護給付等準備基金を大事に活用しながら、急激な介護保険料の上昇を抑えて進めていけると判断している。

○糸魚川市ささえあいプラン（第6期糸魚川市障害者計画・障害福祉計画・第2期糸魚川市障害児福祉計画）(案)について（2月1日）

質疑 障害者団体などから、市の取組が見えない、ささえあいプランを知らないなど、厳しい意見が出されている。障害者・家族の思いに対し、十分対応されていないところが課題ではないか。

答弁 障害者の方々に寄り添い、より良い方向を目指すにはどうするのかを考えて施策を進めているが、更に障害者に対する市民の理解を深め、接し方などを変えていく必要があると思っている。

議会運営委員会

議会運営をスムーズに進めるために、議会全般にわたる事項について協議・調整する委員会です。

2月15日

- ◎第1回市議会定例会の会期及び日程について
- ◎請願・陳情の付託について
- ◎特別委員会の設置について
- ◎委員長報告について
- ◎令和3年度議会費予算の追加要求の概要について(報告)
- ◎議会運営について

2月22日

- ◎第1回市議会定例会の提出予定議案の見送りについて

2月26日

- ◎追加議案について
- ◎議会運営について

3月18日

- ◎追加議案について
- ◎委員長報告について
- ◎議員発議について
- ◎選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙について
- ◎閉会中の継続調査の申出について

全員協議会

4つの案件について、全員協議会を開催し、行政側から状況説明を受け、質疑をする中で情報共有を行いました。

主な内容は下記のとおりです。

○新型コロナウイルス感染症対策について（1月18日）

- ・感染者情報
- ・経過
- ・当市の対応

○豪雪災害対策について（1月18日）

- ・気象・積雪状況
- ・災害救助法の適用
- ・被害等の状況 ほか

○来海沢地すべり災害について（3月8日）

- ・被害状況
- ・避難者への対応 ほか

○工事入札の中止の件について（3月11日）

- ・対象工事
- ・経緯 ほか



全員協議会の様子（1月18日）

特別委員会

市の重要課題について、専門的に調査研究を行うため、必要に応じて設置される委員会です。

予算審査特別委員会



古川 昇 委員長



滝川 正義 副委員長



予算審査特別委員会の様子

令和3年度当初予算案を可決

本定例会初日に予算審査特別委員会（議長を除く18人の議員で構成）を設置し、令和3年度の一般会計、特別会計6件及び企業会計4件の審査を行いました。予算案は全て原案どおり可決しました。

今回は、3密を避けるため、会場を議場に移し、課ごとに審査を行いました。

定例会最終日の委員長報告（概要）は下記のとおりです。

企画定住課

ワーケーション推進事業について、4件の業務委託に分かれており、市の基本姿勢が分かりにくいとの質疑があり、糸魚川市に今ある様々な資源を活用しながら、親子ワーケーションや防災ワーケーションなどに取り組み、様々な働き方を追求し、将来的な企業誘致、移住定住に結び付けていきたいとの答弁がありました。



健康増進課

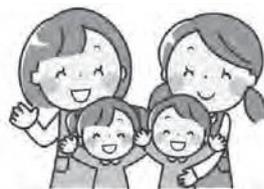
新型コロナウイルスワクチン接種事業の接種体制について質疑があり、休業者の雇用に配慮しつつ、体制の充実を図るとともに、集団接種箇所を糸魚川総合病院、国保診療所の2箇所とし、それらを中心にした接種場所のネットワーク化により、接種に万全を期するとの答弁がありました。

復興推進課

復興まちづくり賑わい推進事業について、大火の発生以来、様々な事業を展開してきてもらったが、引き続き、長期的な視点で取組を期待したいが、いかがかとの質疑があり、復興推進課の業務は新年度から都市政策課に引き継がれるが、引き続き、まちづくり戦略の推進に努めると同時に、駅周辺地域全体の都市政策としても継続的に取り組んでいくとの答弁がありました。

こども課

保育士支援事業について、事業の背景、目的について質疑があり、保育士不足の中で、園長クラス、代理・主任クラス、若手といった立場、経験に対応した専門家によるアドバイスや指導により、風通しの良い職場環境にしていきたいとの答弁がありました。



※市議会のホームページで予算審査特別委員会の模様を録画配信しています。

※QRコードをスマートフォンやタブレット端末で読み取ると、各議員の一般質問の録画中継を視聴できます。



田原 実
議員



問 スムーズで安心・安全な 新型コロナウイルスワクチン接種について

質問

- (1) 新型コロナウイルスワクチン確保及び市の地域医療の現状におけるスムーズなワクチン接種、安心・安全なワクチン接種について伺う。
- (2) 糸魚川総合病院、市内診療所、糸魚川市行政の連携、必要となる行政の支援協力について伺う。
- (3) 市民の理解について、特に高齢者や持病等をお持ちの市民への対応について伺う。

市長答弁

- (1) 地域医療を維持しながら、円滑なワクチン接種を推進するため、集団接種と個別接種を組み合わせた体制の準備を進めている。
- (2) 市医師会と糸魚川総合病院とは、体制整備についての検討を重ねており、人員確保や資材調達について、協力体制を整えている。
- (3) 正確な情報を広報紙やホームページ等を活用し、市民に理解いただくよう順次伝えていく。

問 1月上旬の豪雪への行政対応と問題点及び 「糸魚川市まるごと除雪・排雪大作戦」について

質問

- (1) 国道8号の渋滞とその影響について伺う。
- (2) 期間を集中して市街地の道路の除雪、屋根の雪下ろし、排雪と運搬、広場や河川や海への雪捨てを計画的かつ速やかに進める「糸魚川市まるごと除雪・排雪大作戦」を準備すべきと思うが、いかがか。

市長答弁

- (1) 1月8日から11日にかけての断続的な大雪により、北陸自動車道の通行止めが発生したことで国道8号に大型車両が増え、トラブル等による渋滞で除雪に影響を与えたものと考えている。
- (2) 除雪業者や地区からも意見を頂く中で、実施の可能性について研究していく。

その他の質問項目

- 大火から4年、被災者や地域住民に寄り添う復興となっているか。
- 谷村美術館、木地屋の里施設、相馬御風先生の功績等糸魚川固有の優れた文化資源の活用について
- 「えちご押上ひすい海岸駅」周辺のまちづくりを、高校生や地元高校、地域に住む若い世代や子育て世代と連携して進めることについて

佐藤 孝
議員



問 豪雪対策について

質問

- (1) 令和2年度道路除雪計画書には、路線種別による除雪目標が記載されているが、種別区分と住家の関係について伺う。
- (2) 令和2年度道路除雪計画書の計画に対して、1月の豪雪時の道路除雪作業の状況はどうであったか伺う。
- (3) 降雪は、予想もしない、はっきりなしの降りようが続いたが、市民からの苦情やその内容について伺う。
- (4) 救急車や消防自動車が入れない孤立集落の状態は生じなかったか伺う。
- (5) 市道、私道を含む袋小路の除雪体制と問題点について伺う。
- (6) 大雪が続いていた時、交通機能が麻痺していた。世帯の資力及び労力のうち、資力を適用要件にするべき事態ではなかったと思うが、いかがか。
- (7) 災害救助法における雪は、土砂災害における土砂や倒木と同じで、障害物の除去という扱いのようである。台風が過ぎ去った後の土砂の除去と、雪が降り続く緊急事態真っ最中の、障害物（雪）の除去を分けて考えるべきと思うが、いかがか。
- (8) 豪雪に見舞われた場合、道路除雪がままならないことが予想される。地域や民生委員の担当区ごとに、生命と財産を守るマンパワーを組織できれば一番安心できると思うが、いかがか。

市長答弁

- (1) 道路除雪計画において、住家のあるなしにかかわらず、公共交通の重要性により路線を第1種から第5種に区分している。
- (2) 今回の豪雪は、短期間で市内全域に及んでおり、除排雪に時間を要した路線もあった。
- (3) これまでに、1,500件を超える苦情や意見等を頂いており、主な内容は、除雪の方法や時間帯に関するものである。
- (4) 能生地域の5つの地区で、緊急車両等が行けない状態が発生したが、緊急事案はなかった。
- (5) 道路除雪計画に基づき除排雪を行っており、袋小路などでは、市道であっても除雪を行わない場合もある。また、私道の除雪は行っていない。
- (6) 国の災害救助法や災害救助事務取扱要領及び県が定める基準によって対応している。
- (7) 屋根に積もった雪などを放置すれば、倒壊するおそれがある場合に行う屋根雪下ろしや排雪が対象とされている。
- (8) 平常時から自治会、自主防災組織や民生委員等が連携することによって、災害時に要支援者の安否確認や避難誘導が円滑に行われるよう取り組んでいる。



山本 剛
議員



問 私が過去に行った一般質問のその後について

質問

- 私が過去に行った一般質問のその後について、以下伺う。
- 平成30年に北海道胆振東部地震で北海道全域が大停電した。糸魚川市は、50Hzの最も西の端に位置している。自然災害で、送電線事故等により電気の供給が途絶える可能性がある。そこで、市内の発電所を有する企業から、万一の場合は供給してもらえないかと平成30年12月定例会で質問をした。その後の状況について伺う。
 - 平成31年3月定例会では、県施設である青海シーサイドパーク「ドームなぎさ」において、登録団体のみが対象ではあるが、冬期間に球技等の使用が可能となった件について質問をした。その後の状況について伺う。
 - 令和元年9月定例会では、平成31年度の全国学力・学習状況調査の結果について質問をした。その後の令和2年度の学力・学習状況について伺う。
また、陰山メソッド導入後の成果と問題点について伺う。
 - 令和2年3月定例会では、豪雨災害が多発する中、河川の水位計等について質問をした。その後、水位計等の増設があったのか。また、河川監視のカメラ設置についても提案をした。その後の状況を伺う。
 - 令和2年9月定例会では、こどもフリーパスの高校生への拡大について質問をし、提案をした。来年度に導入する考えがあるのか伺う。
 - 令和2年12月定例会では、田海ヶ池の調査について質問をした。来年度の予定等について伺う。

市長答弁

- 市内の企業で発電された電力は、送配電事業者を介して送電されており、市内の発電企業から直接供給を受けることはできないと聞いている。
- 平成31年2月から3月末まで試行的に開放したものであるが、利用はなかった。翌年以降は、利用の希望がなかったことから開放していない。
- 今年度は、全国一律の学力・学習状況調査は新型コロナウイルス感染症の関連で中止となったが、全国学力標準テストは例年どおり市内全小中学校で1月末に実施し、現在集計中である。
また、陰山メソッドについて、「音読・ます計算・漢字学習」を短時間で集中して行い、基礎的な学習を毎日のように繰り返し行うことで得られる基礎学力の定着と、集中力の向上が図られることから今後も継続していく。
- 今年度、県管理河川において、水位計が4箇所、監視カメラが6箇所、新たに設置されている。また、国が管理する姫川では、既設の監視カメラについて、12箇所、高感度カメラへの更新が行われている。
- フリーパスを実施した場合、鉄道利用との公平性や、市の財政負担が課題となっており、引き続き検討していく。
- 田海ヶ池の外来生物の駆除や、生態系を保全する事業を引き続き行っていく。

滝川 正義
議員



問 市民生活の安全と安心に関して

質問

- 1月3日に柱道で発生した停電に、行政はどのように対応したのか伺う。
- 本庁舎、能生事務所及び青海事務所の非常電源は、どのような状態なのか伺う。
- 非常時に各地区との連絡体制を確保するために、衛星電話の導入が考えられないか伺う。
- 停電時に電源車として利用するために、公用車を燃料電池自動車に置き換えられないか伺う。

市長答弁

- 東北電力ネットワークからの要請により、17時15分と21時5分に防災行政無線による放送を実施した。
- 燃料タンクの容量から本庁舎で約20時間、能生事務所で約10時間、青海事務所で約3時間の発電が可能となっている。
- メールや衛星電話など、様々な連絡手段について検討している。
- ゼロカーボンの取組として検討していく。

問 新エネルギービジョンに関して

質問

- 政府の「温室効果ガス実質ゼロ宣言」には、どのように対応するのか伺う。
- 「GJ」(ギガジュール)という単位にはなかなかなじめないが、なぜこの「GJ」という単位を使わなければならないのか伺う。
- 新エネルギーの中で木質バイオマスが大きな比重を占めることについては、どのように評価しているか伺う。
- 新エネルギーの地産地消を掲げるならば、市内の公共施設の電気を全て新エネルギー、再生可能エネルギーで賄うと宣言できないのか伺う。

市長答弁

- 国が提唱する宣言の趣旨に沿って、ゼロカーボンにつながる施策を引き続き行っていく。
- ジュールは様々なエネルギーの熱量や電力量の国際単位であり、国の温暖化対策の計画にも使われているため使用している。
- 市内には森林資源が豊富にあり、活用をしていくことが必要だと考えている。
- 地域新電力会社を核として、公共施設等に新エネルギーを導入し、地域内で資金が循環するような仕組みを調査研究していく。

その他の質問項目

○学力とデジタル化教育について



保坂 悟 議員



問 気になる諸課題について

質問

- (1) 庁舎トイレの改修工事の入札中止について、全く動きがないが、このまま市長選や市議選を迎える形になるのか。今後の見通しは、どうなっているのか。
また、当初計画のトイレ工事自体はどうするのか。
- (2) 市は地元3高校の魅力化を推進している。昨年12月に公表された糸魚川高校のいじめ再調査委員会の報告結果を踏まえて、県が被害者並びに保護者に謝罪するなど一日も早く収束するように提言する考えはあるか。
- (3) 空き家対策について、固定資産税の6分の1課税と空き家の維持管理の隙間を埋める仕組みづくりが必要と思うが、国県と連携して対応を行う考えはあるか。

市長答弁

- (1) 新型コロナウイルス感染症対策のための工事であり、実施していきたいと考えている。
- (2) 県の案件であることから状況を注視していく。
- (3) 必要に応じ、国県に対し要望を行っていく。

問 子育て支援について

質問

- (1) 特別定額給付金の対象とならなかった新生児一人につき、誕生祝い金2万6,000円の増額分を差し引き、7万4,000円分の商品券を追加給付すべきと考えるが、給付の考えはあるか。
- (2) 子育て世代包括支援センター（日本版ネウボラ）を当市も令和元年度より設置し、産前産後ヘルパー派遣とマタニティサロン等を行っている。現段階での課題や新年度に向けての新たな取組の考えはあるか。
- (3) 給食等のアレルギー対策とエビペン周知について、学校の基本的な対応は、どのように行われているか。

教育長答弁

- (1) 新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、来年度、子ども誕生祝い事業として5万円分の商品券贈呈を継続するほか、新たに妊娠届出時に5万円分の商品券贈呈を考えている。
- (2) 来年度、新たに産後ケアのための母乳相談費用を助成する予定であり、今後も支援の拡充に努めていく。
- (3) 医師の指示書を基に、保護者との面談を通して、給食提供の可否などの合意形成を図るなど、適切な給食提供に努めている。

その他の質問項目

- 糸魚川市のデジタル化について
- 新型コロナウイルス感染症対策について
- 特色あるまちづくりについて

笠原 幸江 議員



問 0歳から18歳まで子ども一貫教育について

質問

12月1日、県において、糸魚川高校で発生したいじめ再調査報告書が公表された。子ども一貫教育の活動として、市教育委員会は、このいじめ事案について保護者と学校との調整活動を行ってきた。再調査結果を受けて、高校への情報提供の在り方と調整活動の成果と課題について伺う。

教育長答弁

県の案件であり、個人に関わる内容についてはお答えしかねるが、市教育委員会及び中学校としては、適切に対応していたと捉えており、今後の状況を注視していく。

問 女性の意見を聴く会「きらっと輝く・いきいき糸魚川」について

質問

令和2年11月11日に市議会と行政との共催で、女性の意見を聴く会が初めて議場で開催された。

議会や行政に多くの市民が関心を持っていることから、女性の意見を聴く会を無駄に終わらせないように継続し、取り組んでいただきたく、以下の項目について伺う。

- (1) 共催として初めて取り組んだが、その成果について伺う。
- (2) 男女共同参画推進担当課が中心となって、啓発活動の一環として取組を進めていただきたいが、いかがか。

市長答弁

- (1) 議場において女性の意見を聴く機会に接したことは、大変有意義であったと考えている。
- (2) 男女が対等な社会の実現を目指し、誰もが性別を意識することなく、行政と対話ができる環境整備を進めていく。

問 工事入札の中止について

質問

1月26日に執行予定であった本庁舎のトイレ電気設備改修工事と本庁舎トイレ改修工事が延期、その後中止となった旨の報道がされている。なぜそのような経緯になったのか、市民に対し、行政の説明責任があると考えている。それらを踏まえ以下の項目について伺う。

- (1) 報道発表としなければならなかった経緯について
- (2) 令和2年度事業予算である。中止とした場合の執行上の処理についての取扱いは、どのようにされるか。

市長答弁

- (1) 適正な入札事務の執行のため、お知らせできる事項について、議会、報道関係者に公表した。
- (2) 新型コロナウイルス感染症対策のための工事であり、実施していきたいと考えている。

その他の質問項目

- デジタル社会の実現に向けた取組について



田中 立一
議員



問 今冬の大雪について

質問

昨年の暖冬少雪から一変して今冬は記録的な大雪となった。改めて除雪体制や融雪施設の整備について伺う。

- (1) 国・県との情報や除雪体制の連携について
- (2) 各集落から寄せられる要望内容と連携について
- (3) 各地に貸与されている小型除雪機の貸与状況について
- (4) 敷設要望が高い消雪パイプの今後の計画について
- (5) 流雪溝の整備について

市長答弁

- (1) 関係機関と情報共有するとともに、効率的な冬期間の交通確保のため、県と協定を締結し、対応している。
- (2) 集落によっては、一斉屋根雪下ろしや排雪の要望があり、対応した。
- (3) 98地区に101台の小型除雪機を貸与している。
- (4) 既設消雪パイプの修繕は順次進めており、新設についても今後検討していく。
- (5) 市内10箇所で流雪溝が整備されており、今後新たな整備の可能性を検討していく。

問 35人以下学級への対応について

質問

公立小学校の1クラスの定数は、2025年度に全学年35人以下学級となる。

コロナ禍において小学校での外国語教科、プログラミング学習の導入、一人一台の端末配布などと教育の現場は大きな変革期にあるが、少人数学級はきめ細かな教育の実施、新型コロナウイルス感染症防止対策としても期待される。

一方で、今後は教員の確保が課題となるのではないかと危惧されているが、当市における対応状況と課題は何か伺う。

教育長答弁

県の学級編制基準に基づき、1、2年生32人程度、3年生以上35人以下で行っており、既に国の目標を実現している。さらに、少人数指導を進めるため、教員のOBを中心とした学力向上支援員を市で配置し、対応している。

その他の質問項目

○新型コロナウイルス感染症による影響と対応について



五十嵐健一郎
議員



問 第3次総合計画における糸魚川未来重点戦略の取組・方向性について

質問

12月等の一般質問での市の本質的価値や脱炭素社会及び市政運営等の回答やアンケート調査を踏まえて、より深掘りし、理事者としての政策ビジョンを総合計画に反映するべきと思う。

そこで「ワクワクするような夢と希望の持てる」市にするためにも以下の項目により、未来重点戦略の取組・方向性について伺う。

- (1) 大深度地熱発電等の再生可能エネルギー
- (2) 水素社会への対応
- (3) 水の調査研究と利活用
- (4) 東京圏等一極集中の是正
- (5) 地域医療の充実と医療制度の改正
- (6) 断らない相談支援体制づくり
- (7) 糸魚川オープンイノベーション（IOI）会議の設置
- (8) 皇室ゆかりの三の丸尚蔵館の美術品借受けと当市文化財保存活用地域計画
- (9) 職員等の意識改革と経営感覚
- (10) このほかに新しいワクワクする政策ビジョンを上げてもらいたい。

市長答弁

- (1) 国の機関で調査研究が始まった段階であり、引き続き情報収集に努めていく。
- (2) 水素は今後重要な役割を果たしていくと考えており、国・県などの動向を注視していく。
- (3) 新型コロナウイルス感染症の影響で大学等との協議が進んでいないが、民間の小水力発電の動きが出てきており、今後も水資源の利活用について推進していく。
- (4) 人材確保に努めるとともにワーケーションの推進やサテライトオフィスの整備により、首都圏等から人の流れを作り出し、将来的な移住定住につなげていく。
- (5) 医療制度改正など、国の動向を注視し、今後も医師会や糸魚川総合病院と連携して、地域医療の維持、充実に努めていく。
- (6) 社会情勢の変化に伴い、相談内容も複雑化しており、引き続き関係機関と連携し、相談体制の強化を図り、課題解決に向け、相談者に寄り添った支援を行っていく。
- (7) 現在「糸魚川産業創造プラットフォーム」において、市内企業、商工会議所等が連携して地域課題の解決に向けた取組を進めている。
- (8) 美術品の借受けは、当市の施設では難しいと考えている。また、市文化財保存活用地域計画は、県文化財保存活用大綱に沿って来年度から策定していく。
- (9) 今までの考えにとらわれない、民間の経営感覚を意識しながら、行政を進めていく職員の意識改革が必要であると考えている。
- (10) 現在、検討しているところであるが、様々な観点から夢や希望の持てる具体的な政策を提案できるように検討していく。



新保 峰孝

議員



問 新型コロナウイルス感染症対策について

質問

- (1) 新型コロナウイルスワクチン接種をどのように進めていく考えか。実務を担う市の計画と体制は、どのようになっているか。医師、看護師、接種後の一時待機の場所等、確保できたか。
- (2) 無症状感染者を含めた検査の抜本的拡充、医療機関への減収補填、十分な補償等、感染対策の基本的取組を並行して、しっかり行うことが必要と考える。どのように考えているか。
- (3) 医療機関のみならず、高齢者施設を集団感染から守ることは、緊急の課題である。介護や高齢者施設の優先接種を、県や国に働きかける必要があるのではないか。

市長答弁

- (1) ワクチン接種体制は、集団接種と個別接種を組み合わせた計画としており、人員及び会場の確保を進めている。
- (2) ワクチン接種や基本的感染症対策を行うとともに、検査体制の確保や減収補填について、国・県に働きかけていく。
- (3) 高齢者については優先接種の対象となっていることから、高齢者施設において円滑な接種ができるよう進めている。また、従事者については、高齢者と同時に接種できるよう取り組んでいる。

問 保育・教育行政について

質問

- (1) 保育士を目指す人たちが少なくなっていると言われ、保育行政をめぐる環境には厳しいものがあると思うが、当市の人材確保の現状は、どのようになっているか。
- (2) 近年、保育職員の退職が多いのではないと思うが、職員が辞める原因と現状をどのように捉えているか。
- (3) 少子化の中で、浦本保育園が休園となるが、学校統合と同じように十分な話し合いを行った上で方向を決めるべきと思うが、閉園を急いだ理由は何か。

教育長答弁

- (1) 保育士確保は厳しい状況にあるが、「新潟県保育サポートセンター」も活用し、保育士の雇用につなげていきたいと考えている。
- (2) 退職の理由はそれぞれ異なり、やむを得ないものと捉えている。
- (3) 令和3年度の入園申込者が結果的にゼロになったことや今後の出生数の見込みから、閉園する方向で保護者や地区と協議し、その結果、休園としたものである。

東野 恭行

議員



問 アフターコロナを見据えた地域経済の活性について

質問

- (1) コロナ禍で軒並み中止になった市民イベントの再開を支援する「パワーUP再開協力金創設(仮)」について、考えはあるか伺う。
- (2) 一般社団法人等の「地域活動団体に更なる活力を」ということで、市職員の積極加入を促してきたが、考えはどうか伺う。
- (3) この度市は、糸魚川市本町の民間企業の建物を取得したが、取得の目的と今後の展望について伺う。
- (4) 駅北周辺は、スーパーマーケットがなくなり、地域の高齢者も苦勞されている。移動販売事業者への支援制度はあるか伺う。

市長答弁

- (1) 新型コロナウイルスの感染状況等を見ながら、団体やイベントへの支援を検討していく。
- (2) 職員の地域活動への参加は、地域と行政の相互理解を図る意味でも必要と考えている。職員には一番身近な自治会活動等への積極的な参加を促しており、今後も継続していく。
- (3) 旧東北電力ビルは、駅前通りと本町通りが交差する好立地にあり、将来的なまちづくりに有効な活用が見込まれることから取得したもので、もう1棟の寄附物件と併せ、庁内の関係課により活用について協議、検討していく。
- (4) 移動販売車の購入や運営費等の補助を行っている。

問 官民連携の在り方について

質問

- (1) これからはアフターコロナを意識した経済対策やまちづくりの仕掛けが必要と考える。そのために、若者・若手市職員に「直接市長と対話できる機会」が必要であると思うが、いかがか伺う。
- (2) 地域おこし協力隊の「就任～愛着醸成～糸魚川定着」までのプログラムの考えを伺う。

市長答弁

- (1) まちづくりには若者の意見が大切である。ふるさとリバイバル25や青年会議所などの懇談を行っており、今後も更に若者との懇談の機会を設け、まちづくりに生かしていきたいと考えている。
- (2) 地域おこし協力隊は、市外から着任することから、事前にミッションを明確にするとともに、受入体制を整え、活動がスムーズに展開できる取組を進めている。

その他の質問項目

○人口減対策について





古川 昇
議員



問 介護保険事業の推進について

質問

2025年、団塊世代が後期高齢者となり、介護ニーズの増大が続く予測の中、地域特性を的確に踏まえた介護サービス提供体制の整備・確保が求められている。

- (1) 長引くコロナ禍にあって、利用者・職員・施設や地域を感染から守る対応に頑張る介護事業所の現状把握と、相談・支援について、今後の取組も併せて伺う。
- (2) 市の人口構造と高齢者人口・介護認定者推計などを確認した場合に、見えてくる高齢者介護・福祉への課題と地域の特性に応じた対応を伺う。
- (3) 団塊の世代全員が後期高齢者となり、介護サービス需要の拡大が想定される中、地域の実情に応じて構築するとした医療・介護、予防・住まい・生活支援が包括的に確保される地域包括支援システムの推進と、その活用状況について伺う。
- (4) 地域支援総合事業の弾力化について考え方が示されていないが、行政は実施に向けて検討されているのか伺う。
- (5) 健康寿命を延伸する施策が地域共生社会の実現や制度維持・財源的にも重要視されてきたが、取組の現状と課題について伺う。
- (6) 介護人材確保対策で若い層だけでなく、ミドル世代も含めた確保対策の多様化について、具体的な取組や支援策と、市内における介護専門職の人材の現状を伺う。

市長答弁

- (1) 引き続きコロナ禍における介護事業所の現状把握に努めるとともに、今後の国等の動向も捉えながら、必要な支援策を講じていく。
- (2) 高齢者人口は減少に転じたが、今後も要介護等認定者数は増加傾向であることから、運動機能や認知機能等の低下による、心身状況の悪化を予防するフレイル対策を重点的に行っていきたいと考えている。
- (3) 現在、医療と介護の従事者間の連携強化が進んでおり、今後は高齢者を含む地域住民が生活支援の担い手となるよう各種事業に取り組んでいく。
- (4) 引き続き国や県の動向を注視しながら、県内市町村の動向などを情報収集し、対応していく。
- (5) これまでは生活習慣病対策事業、健康増進事業、介護予防事業に取り組んできた。今後、高齢者の保健事業と介護予防の一体的な取組により、高齢者の健康寿命の延伸に努めていく。
- (6) 介護資格を有する方が市内事業所に再就職しやすい支援制度を実施し、人材確保対策の更なる拡充に努めていく。また、訪問介護員、介護支援専門員、看護師の確保がより困難な状況にあると認識している。

吉岡 静夫
議員



問 今回市長選に対応しての現市長・米田徹氏としての基本的な考え方・姿勢・対応

質問

行政府の長という権能の特性を配慮した場合、多選を避けるのが道。特に、地方行政にあっては「首長」と「議員」の持つ特性を配慮し合いながら進めなければならない。これは原則。

一方の「首長」は単体で、一方の「議員」は複数・合議体。「市長」はあくまでもAはAという「個」でしかない。一方、「議員」は、BもありZもありという合議体。この違いを根っこに置いて、私は「市長」の多選は絶対避けるべき、いや、避けなければならないと主張している。

以上の背景と理論のもと、私は、今回表面化してきた「市長5選」への米田徹氏の動きは賛同できない。市長の考えを伺う。

市長答弁

多選の批判があることも承知しているが、新型コロナウイルス感染症の影響で、様々な取組が、また、市民の皆様が大変な苦勞をしている状況の中で、迅速な対応が求められており、出馬を決意したものである。

問 「二元代表」・「議会基本条例」についての基本的な考え方・姿勢・対応

質問

『市長』と『議員』は『二元代表』を標榜し合い、「議会基本条例」が作られ、動き出したのが2016(平成28)年9月。大きなエネルギーを投入した成果であった。

そして現実。残念ながら「うたい文句」とのギャップが。このことを見せつけてくれたのが、2017(平成29)年9月27日付けでの「市議会一般質問にかかるお願い」なる市長から議長への公文書。

「一議会は、市長等の行政執行を監視・調査」をうたっているはずが、この公文書、まるで「綴り方教室」などで「教えてやりますよ」と、議員側が市長側から教え諭されている。

確かに「二元代表」とはいつても、その一方である「議員」は個となると組織・構成・数など、「市長」と比べればその力は格段の差。

こういった現実について市長の考えを伺う。

市長答弁

二元代表の一方である皆様に、できるだけ丁寧に答弁をしたいとの思いから、文書においてお願いさせていただいたものである。

その他の質問項目

○絶対人ごとではない、必ず自分ごととなる「高齢化」・「高齢者問題」に対する基本的な考え方・対応・姿勢

※高澤公議員は、一般質問の通告をしましたが、欠席により行いませんでした。



案の審議結果 第1回定例会(2月22日~3月19日)

番号等	件名	結果
1	専決処分の承認を求めることについて(令和2年度糸魚川市一般会計補正予算(第10号))	承認
2	令和3年度糸魚川市一般会計予算	可決
3	令和3年度糸魚川市国民健康保険事業特別会計予算	可決
4	令和3年度糸魚川市国民健康保険診療所特別会計予算	可決
5	令和3年度糸魚川市後期高齢者医療特別会計予算	可決
6	令和3年度糸魚川市介護保険事業特別会計予算	可決
7	令和3年度糸魚川市有線テレビ事業特別会計予算	可決
8	令和3年度糸魚川市集合支払特別会計予算	可決
9	令和3年度糸魚川市ガス事業会計予算	可決
10	令和3年度糸魚川市水道事業会計予算	可決
11	令和3年度糸魚川市簡易水道事業会計予算	可決
12	令和3年度糸魚川市下水道事業会計予算	可決
13	糸魚川市都市計画審議会条例の一部を改正する条例の制定について	可決
14	糸魚川市表彰条例の一部を改正する条例の制定について	可決
15	糸魚川市特別会計条例の一部を改正する条例の制定について	可決
16	糸魚川市立学校施設使用条例の一部を改正する条例の制定について	可決
17	糸魚川市社会体育施設条例の一部を改正する条例の制定について	可決
18	辺地に係る総合整備計画の策定について	可決
19	財産の取得について(消防ポンプ付大型水槽車)	可決
20	糸魚川市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	可決
21	市道の認定及び廃止について	可決
22	糸魚川市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	可決
23	糸魚川市医師養成資金貸与条例の一部を改正する条例の制定について	可決
24	糸魚川市医療技術者及び介護従事者修学資金貸与条例の一部を改正する条例の制定について	可決
25	糸魚川市指定居宅介護支援等の事業の人員、運営等に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可決
26	糸魚川市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備、運営等に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可決
27	糸魚川市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法等に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可決
28	糸魚川市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可決
29	糸魚川市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	可決
30	令和2年度糸魚川市一般会計補正予算(第12号)	可決
31	令和2年度糸魚川市下水道事業会計補正予算(第2号)	可決
32	令和2年度糸魚川市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	可決
33	令和2年度糸魚川市国民健康保険診療所特別会計補正予算(第2号)	可決
34	教育委員会委員の任命について	同意
35	令和2年度糸魚川市一般会計補正予算(第11号)	可決
36	令和2年度糸魚川市一般会計補正予算(第13号)	可決
37	令和3年度糸魚川市一般会計補正予算(第1号)	可決
請願1	「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める」意見書の採択を求める請願	不採択
発議1	糸魚川市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について	可決

人事案件



■教育委員会委員の任命

現教育委員の任期満了に伴い、後任として次の方の任命に同意しました。

齊藤 里沙さん(日光寺・新任) 任 期 令和3年5月20日から4年間

■選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙

選挙の結果、次の方が当選されました。

◎選挙管理委員会委員

- 矢澤 章さん(能 生)
- 吉岡 隆行さん(田 伏)
- 山崎 利行さん(田 海)
- 川原 範子さん(南寺町)

◎同補充員 ※数字は補充順序

- ① 伊野 啓一さん(四ツ屋)
- ② 渡邊 修一さん(寺 地)
- ③ 瀧 明子さん(桂)
- ④ 有水 嘉代さん(寺 町)

市議会議員一般選挙・糸魚川市長選挙

任期満了に伴う糸魚川市議会議員一般選挙と糸魚川市長選挙が4月18日に行われました。即日開票の結果、18人の市議会議員が当選され、市長選挙では 米田 徹 氏が当選されました。選挙の結果は下記のとおりです。(敬称略)



横山 人美
2,259票



田原 洋子
1,674票



伊藤 麗
1,573票



保坂 悟
1,563票



利根川 正
1,331票



田原 実
1,214票



阿部 裕和
1,206票



田中 立一
1,136票



中村 実
1,107票



近藤 新二
1,049票



加藤 康太郎
984票



新保 峰孝
979票



東野 恭行
943票



宮島 宏
910票



松尾 徹郎
876票



古畑 浩一
837票



渡辺 栄一
828票



和泉 克彦
797票

高澤 公 790票

山本 剛 651票

吉岡 静夫 531票

多田 松樹 332票

吉川 慶一 730票

佐藤 孝 645票

滝川 正義 487票

横川 正樹 93票

(得票数の小数点以下は切り捨て)



開票作業の様子

市議会をホームページでご覧いただけます。

市議会ホームページで、本会議の生中継映像、録画映像と、予算審査特別委員会の録画映像の配信を行っています。

市議会ホームページは、「糸魚川市議会」で検索いただくか、右のQRコードをスマートフォン等で読み取るとご覧いただけます。



【QRコード】

